

なきごえ 3

MAR.

2000



CONTENTS

New Face	クロサイの赤ちゃん	油家謙二	②
	動物とわたし	志賀真理子	③
カバーウォッチング	マツカサトカゲ	油家謙二	④
	アメリカの動物園と環境団体	川端裕人	④
	東南アジア動物園協会年次総会に出席して	長瀬健二郎	⑥
グラフZOO	見てみよう!ゾウの鼻の使い方	油家謙二	⑧
	獣医室から 野生鳥類の保護	竹田正人	⑩
	ZOO DIARY	高見一利	⑪
	ZOO INFO	坂本全	
		松岡秀和	



New Face

クロサイの赤ちゃん

(ウマ目 サイ科)

昨年11月11日に生まれたクロサイの赤ちゃんです。母親のサッチャンはこれで5産目になります。サイの角はひふが変化したもので、一生伸び続けますが、生まれたての赤ちゃんには角はありません。(撮影・文：油家謙二)

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-



●会社員

志賀真理子さん

里山の動物たち

5月のある日曜日、六甲山を一人で歩いているときでした。ハイキングをする人もいない、ひっそりとしたゆるやかな山道を下っていると、目と目が合ってしまった。ウサギさんと。彼(彼女?)はとっともびっくりしたようで、目をまん丸と見開き、耳をピンと立て、背伸びをするように両前足をあげ、クルッと振り返ったところでした。私もウサギさんも身動きがとれず、お互いに見つめ合うこと5秒間(本当は2~3秒だったのかもしれませんが)。彼はきびすを返し、一目散に林の中へ走り去ってしまいました。

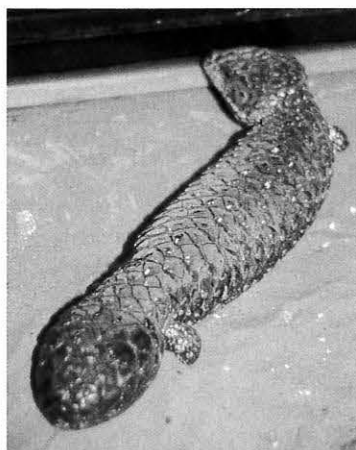
これが、私が都市近郊で野生動物と出会った最初の体験です。それまでも里山を歩きながら動物達のフン、食べ跡などを探しながら歩いていたのですが、実際に彼らの姿を見たのは初めてでした。はじめはこんなに身近に野生の動物がいるということが信じられませんでした。でも近くの里山をのんびりお散歩していると結構いるんですね。実際にその姿に出会うことはまれですが、テン、ウ

サギ、タヌキ、イノシシ、シカのフンや、食事の跡が、そこで彼らが暮らしていることを物語っています。以前は山奥の人の住んでいないところに彼らが住んでいるのかと思っていましたが、意外と人里近くの里山が彼らの生息地なのだそうです。

雪景色の里山は彼らの暮らしが手に取るようにわかります。雪の上にハッキリと彼らの足跡が残るからです。ウサギの運動会や、リスのかくれんぼ、タヌキのヨタヨタ歩きが一目瞭然(いちもくりょうぜん)です。姿こそ見えませんが、そんな彼らの行動を想像しながら歩くのはとっても楽しいものです。

でも最近はそんな里山も、開発という名の下にどんどん少なくなってきています。ゴルフ場に、宅地開発に。それに伴って、動物達も生息地を奪われ、人里近くに下りてきて人間との摩擦も増えてきました。20世紀、やりたい放題してきた人間。21世紀、人間がしなければいけないことは……。

(しがまりこ)



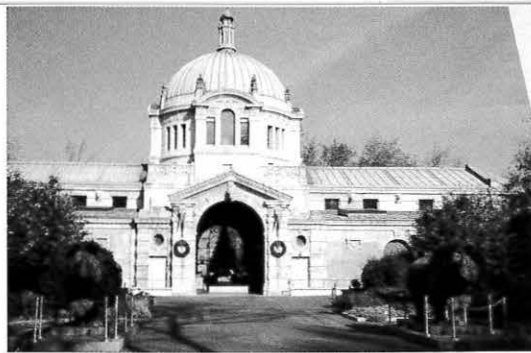
Cover Watching

マツカサトカゲ

トカゲ目トカゲ科 (学) *Trachydosaurus rugosus*

(英) Stump-tailed Lizard

オーストラリアの乾燥地帯に住むトカゲです。一見すると、どっちが頭かわからない、不思議な姿をしています。外敵から身を守るのに役立っています。(撮影・文：油家謙二)



ブロンクス動物園の建物

World animals & nature

アメリカの動物園と環境団体

作家・川端裕人

「動物園は環境保護団体である」と言ったならば、唐突に感じられるでしょうか。動物園の先進国といわれるアメリカでは、環境保護団体のような活動をする動物園があります。その筆頭が、ニューヨークのブロンクス動物園。希少種の繁殖のために非公開の繁殖施設（ジョージア州セントキャサリン島）を持っているだけでなく、全世界で300を越える、自然保護のための研究プロジェクトを押し進めています。例えば「ボルネオ島のテングザル保護研究」「マウンテンゴリラの棲息地保護研究」といったものが目白押しなのです。

これは極端な例ですが、現在の動物園は、多かれ少なかれ自然保護のための活動を行っています。アメリカに限らず、日本の動物園だってそうです。希少種を繁殖させ、いざという時のために動物園の中で維持していこうとする「種の保存計画」は、動物園ならではの自然保護への取り組みになりますし、そもそも、動物園で動物を見せること自体、「こんな生き物があるんだ」ということを知らしめる教育普及の役割があるとされています。どれだけ機能しているかという評価は分かれますが、少なくとも動物園は自然保護に役立つと努力しています。

ところが、こういった動物園が、環境保護と団体に批判されることがよくあるのです。特にアメリカでは、この動きが強いようです。注意していただきたいのは、これが「動物愛護」や「アニマルライツ」といった、野生動物を飼うのが残酷だと考えているグループからではなく、自然を守れという環境保護団体からの批判だということです。

このことを理解するためには、一口に自然保護といっても、決して一枚岩ではないことを知らなければなりません。

ディープエコロジー（つまり深いエコロジー）という言葉聞いたことがあるでしょうか。これまでの自然保護の考え方を「人間の都合しか

考えておらず、人間中心的で浅薄だ」と批判し、これからは「生命中心的」な環境保護をするべきだと考えている人たちのことです。彼らは「人間が生きていく権利があるように、自然（生態系）にも存続する権利がある」「人間にとっての利用価値ではなく、それぞれの自然が固有の価値を持っている」と考えています。そして、物言わぬ自然に成り代わって、それらを守る活動をするのです。

彼らから見ると、動物園は明らかに「人間中心的」です。動物園は歴史的にみて、まず人間の楽しみのために動物を飼い、見せることだったからです。特に野生動物の採集の際には、自然をあからさまに破壊してきました。例えばゴリラを捕まえる時には、群れのすべての成獣を殺して赤ん坊だけを連れ帰りました。現在ではこういったことはなくなっていますが、この印象で考えれば、動物園はとて「人間中心」で、ディープエコロジーの考えとは相い容れないのです。

ディープエコロジー系の団体「アース・ファースト！」のデモ。ニューヨークにて、ミツビシ系企業の熱帯雨林伐採に反対して開かれたもの。



カリフォルニアコンドル（ロスアンジェルス動物園）



給餌用のパペットとマイケル・ウォレス博士。博士は、コンドルのケージで3カ月寝起きした人。



また、動物園が自然保護に関わる時の「方法」が問題になることもあります。ディープエコロジーの団体は、生き物を守るためには生態系をまるごと守るべきだと考えるため、例えば種の保存のために動物園で希少動物を繁殖させるのを高く評価しません。この点で、ディープエコロジーと、動物園との間で、非常に先鋭な対立が生まれたことがあります。場所は、アメリカ・カリフォルニア州。カリフォルニアコンドルという絶滅寸前の鳥をめぐる80年代後半、騒動は起きました。

カリフォルニアコンドルは、この時、野生で20数羽にまで減っており、それを政府が全羽捕獲して動物園で繁殖させる決定を下しました。これに対して、ディープエコロジーを信奉し、環境テロリストとして恐れられている「アース・ファースト！」や、大手の中でもっとも「ディープ」度が高いシエラクラブが、この全羽捕獲に反対しました。理由は、「捕らえて繁殖させても、彼らが戻る自然は残っていない。全羽捕獲するよりも野生に残して、尊厳死（傍点）させた方がまだましだ」というものでした。

この時、カリフォルニアコンドルを受け入れ、繁殖に着手したロスアンジェルス動物園には、毎日のように活動家がやってきて反対を叫んだ

そうです。中には動物園のゲートに自分の体をくくりつけて抗議した活動家もいました。繁殖の責任者は、ケージを壊されるのを恐れて、3カ月もの間、ケージの中で寝起きしたそうです。この繁殖計画は成功し、動物園で生まれた若鳥を、やがて野生に戻す計画が始まりました。現在ではディープエコロジー側からの批判は消えています。それにしても、生き物を守ることをめぐって、なんとも鋭い対立が起きたものです。

極端な例を挙げましたが、その一見「極端」に思える考え方でも、どこかで本質をついている部分があるとぼくは思います。「動物園は人間中心だ」と言う時、人間の都合で動物を連れてきているというのは本当で、希少種の繁殖はほとんどの場合その後で始まったことを思い出さざるを得ません。とすると、動物園というのは罪深い存在のように感じられてきます。

動物園に勤める知人がこう言いました。「動物園には原罪みたいなものがあって、だからこそ一生涯懸命今自然を守ろうとするのだ…」

同じ「動物園の悪い部分」を前にして、非難する人がいるかと思えば、だからこそ自然に対して償わなければならないと思う人もいる。その対比がおもしろいと思いました。そして、第三者であるぼくは、この両方が噛み合って、アメリカの動物園は進んでいるのだと感じました。

（かわばた ひろと）

参考文献 「動物園にできること」（文藝春秋、1999年）
「緑のマンハッタン」（文藝春秋、2000年）

東南アジア動物園協会年次総会に出席して

はじめに

昨年の10月31日から11月5日までベトナムのホーチミン市で開催された第8回東南アジア動物園協会年次総会に出席しました。熱気あふれるアジアのパワーに圧倒される思いのする熱い会議で、少なからず興奮させられ、感動させられました。その熱気をうまくお伝えできるか不安ですが、会議中に見学したサイゴン動物園の印象も含めここにご紹介したいと思います。

東南アジア動物園協会の評議員の方々と来賓の方々



サイゴン動物園の意気込み

まず驚いたのはこの会議にけるサイゴン動物園の意気込みです。当日は日本では連休を迎え、飛行機は満員でした。しかし、サイゴン動物園の出迎えの方が入国カウンターの中まで来て待っていてくれ、長蛇の列もお構いなしで、私の書類を持ってさっさとカウンターの中に入って行きました。係官はこれまた、さっさとスタンプを押してくれ、私の入国手続きは完了しました。そのあっけなさに驚くやら、並んでいる人に申し訳ないやらの複雑な気持ちでした。後で聞けば総会への出席者は皆この特別扱いだったそうです。

東南アジア動物園協会に対してほとんど予備知識がなかったため、出席者は東南アジアの数カ国から集まるものと考えていました。ですからせいぜい数十人程度の会議と思っていたのです。

会議場のホテルへ向かうよう準備されていたバスに乗り込むと、旧知のメルボルン動物園の爬虫類課長がいました。なぜオーストラリアの

人がいるのかとても不思議に思ったので聞いてみると、出席者は東南アジアだけではなく世界各国から参加するとか。ホテルへ着くともうウェルカムパーティーは始まっていました。さまざまな国からの参加者でいっぱい、後で聞けば18カ国から114名の方の参加があったそうです。サイゴン動物園が一生懸命になるのもよく分かりました。

会議は燃える、そして進む

翌日から始まった会議は熱気あふれるものでした。2日間で4回の科学部会が開かれました。テーマは、生物多様性、自然保護・教育、飼育健康管理、飼育管理・展示で、このテーマに沿った、合計28の発表がありました。東南アジアの国々だけではなくアメリカやドイツ、オーストラリア他の国々からも発表があり、活発な論議が展開されました。ネコ科動物の遺伝的多様性の発表などは現時点での世界最先端の内容で、この解明によって進化の道筋までも明らかにしようというものでした。

ベトナムで近年になって発見された哺乳類の発表もありました。平成4年5月に現地名がサオラというカモシカが発見されたことは今世紀最終最大の発見と大ニュースになりましたが、



出席メンバーの集合写真

それ以降も、平成5年9月には新種のキョンが、また昨年4月にはジャワサイまでも発見されたとの報告には本当に驚きました。ベトナムの特異的な霊長類の発表もたいへん興味深いものがありました。固有種が5種もいるそうです。この発表の霊長類にしてもサオラやキョンにしても、あの長く厳しかったベトナム戦争をよ

く生き延びたものだと感心させられましたが、いずれの種も案の定、現在絶滅の危機に瀕しています。せつかく生き延びたこれらの種が絶滅などすることのないよう願うばかりです。

教育に力を入れている動物園も多く、教育活動によって動物園などの飼育施設の保護活動を野生下での保護に貢献させた例がインドネシアの動物園から報告されました。またベトナムの動物園やネパールの動物園でも教育に重点をおいている例が報告されました。この他、今後、天王寺動物園でも試してみたい薬の使い方など、ここでは紹介し尽くせませんが、興味深い発表がたくさんありました。

科学部会の発表の合間をぬって東南アジア動物園協会の各委員会からの報告もありました。これまで数カ所の東南アジアの動物園を見学し、個人的には一部の動物園を除き、まだまだ遅れているというイメージをもっていました。しかし、動物福祉委員会からの報告に感心しました。この委員会では各動物園を訪問して評価し、それぞれの動物園に対し改善点を指摘し、指導を行っているそうです。こういったいわば自浄努力とも言えるべき活動が活発に行われる限り、動物園のレベルは上がるからこそあれ、下がることは決まっていでしょう。

また、今回の第8回総会では実際は一昨年タイで開催される予定でした。しかし、タイに端を発し、アジア全体を巻き込んだ経済大恐慌のために開催出来ず、1年間の空白をおいての開催でした。しかし、アジアの各国とも、国自身は経済的に苦しくなってはいても、動物園人の意欲はまだまだ意気軒昂、という印象を強く受けました。

サイゴン動物園

2日目の午後にはサイゴン動物園の見学会がありました。溢れかえるオートバイで渋滞した市内を横断し、市内の東部にある動物園に到着しました。入り口は少々古めかしい鉄柵でした。中には歴史博物館や植物園も併設されているそうです。園内は広い芝生の緑の中に動物舎が点在する感じで、広々とした印象を与えます。動物舎はどれも古いタイプでい



サイゴン動物園の入場門

かめしい感じを与えますが、ライオン、トラ、ゾウ、シマウマ、クマといったいわゆる動物園らしい動物はそろっています。アジアゾウはオスも飼育されていました。この動物園で私が楽しみにしていたのはなんといってもカンムリセイランです。長い美しい尾を持ったたいへん希少なキジです。世界の動物園でもここを含め2、3カ所で見ることが出来ません。10羽位が園内で分散飼育されていました。繁殖にも成功しているそうです。長い間



珍鳥カンムリセイラン

見たいと願っていた鳥に会えてとても感動しました。

誌面の関係で舌足らずな印象記にならざるを得ませんでしたが、出張の機会を与えていただいた関係者の方々や日本動物園水族館協会の関係者の方々、また超多忙な時期の出張にもかかわらず快く送り出して下さった上司や同僚に感謝し、筆を置きます。

(飼育課:長瀬 健二郎)



見よう! 見よう!

おいしいゾ〜!

飼育課・油家謙二

ゾウの特徴といえば大きな体とあの長い鼻。じゃあ、あの長い鼻はいったい何に使うんだろう。どんなことができるんだろう。と、思っている人に今回はゾウの鼻の使い方をいろいろと紹介します。

ながい鼻の使い方



ぞうの鼻



うんと伸ばせば、こんな所まで届くんだよ。

ながぞうね〜

こんにちは

粉っぽいエサも上手に鼻でくんで…パクッ

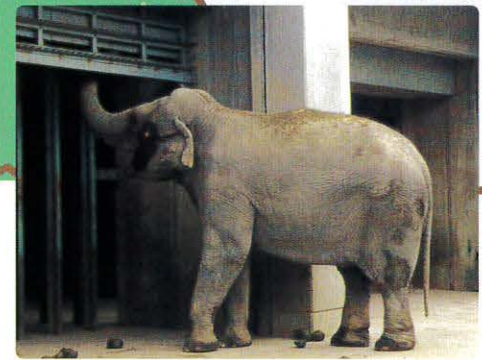
大好物の草は、一口分ずつかんで食べるよ



気持ちがいイ〜ゾ〜!



ゾウ同士のコミュニケーションにも鼻が必要。



たいくつだなあ。なにか面白い物ないかなあ

のどが渇けば、コップにはやがわり



あーん



それでも暑げりやシャワーにもなるゾー



春子とユリ子だぞっ

よく見ると、鼻の巻き方も、ゾウによって右巻、左巻と癖があるんだよ。



鼻の下は、すぐ口の中になってるよ。

実はゾウの鼻は、鼻と上くちびるが一緒になったもの。



野生鳥類の保護

天王寺動物園では毎年300頭以上の野生動物を保護しています。その9割以上が鳥類で、なかでも最も数が多いのはドバトです。

ドバトはアフリカ北部から中国までの温帯に分布しているカワラバトを家畜化したものが野生化したものです。別名、カイバトやイエバトとも呼ばれています。家に戻れなくなった伝書鳩やレースバトもこの中に含まれます。カワラバトは、低い山や海崖に生息し、岩棚で営巣しています。ドバトはこの性質を引き継いで、生息環境によく似た都心に適合し、会社のビルの軒下やマンションのベランダ等で営巣・繁殖しています。元々日本にいなかったドバトの今の繁栄は、この性質と旺盛な繁殖力によるものです。

ドバトに次いで多いのがキジバトです。ドバトより一回り小さくて、全身茶色味を帯びたキジバトは、別名ヤマバトやノバトとも呼ばれ、シベリア西部から中国・インド南部・東南アジアの一部・日本などの平地から山地の林に生息していました。しかし、日本では近年の自然開発(破壊)によって生息地を追われたのか、環境に順応するようになって、市街地の並木でも営巣するようになってきました。

これらのハト類は1年を通して保護されてきます。その時の症状は、摂餌不足による衰弱や激突による骨折、ネコによる咬傷など様々です。

ハト以外で年中保護される鳥にサギの仲間があります。サギ類にはアオサギ、ゴイサギ、ササゴイ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギ等があります。アオサギは全身灰色で所々白と黒の羽で模様が入った、日本産のサギ類で最も大きいものです。羽の色や身体の大きさ、嘴・足の皮膚の色で判別しています。

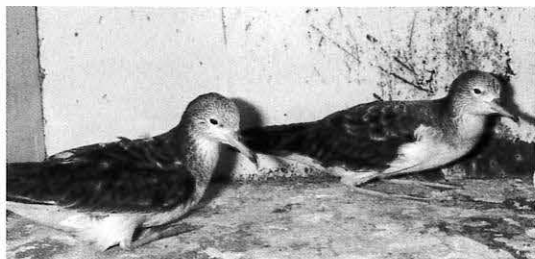
サギ類でもっとも多い症状は足の骨折です。田んぼや川、池沼に適応した長い足が災いしているようです。

鳥の種類は季節によって特色があります。たとえば、春と夏。この季節は多くの鳥たちの繁

殖期で、巣から落ちたヒナやうまく巣立ちできなかったヒナが多く保護されてきます。特に多いのが、ヒヨドリとムクドリ、ツバメです。これらのヒナには、お腹がすいて鳴くたびに餌であるすり餌やミルワームを与えます。その後自分で餌を食べ、飛べるようになる訓練をして放鳥します。

オオミズナギドリの若鳥が保護されてくると、秋を感じます。カモメに似た海鳥で、日本周辺の島に生息しています。10月から

オオミズナギドリの幼鳥



12月に北から南に渡りますが、その途中で力尽きて不時着して保護されてきます。彼らは足が短く、ヒレを持っているので、歩きが得意ではありません。足を怪我しているのでは?と持ち込まれますが、ほとんどの場合怪我はありません。飼育下では自力で餌を食べないので、無理やり喉の奥にアジを突っ込んでやり、体力を回復させてから放鳥しています。

冬に多いのがカモ類です。カルガモは留鳥ですから、1年を通じて保護されてきますが、キンクロハジロやホシハジロは渡ってくるこの時期に多く保護されます。春には北に帰って行くので、早く回復させるよう努力しています。

めったに見られない鳥を保護したこともあり

アカオネツタイチョウ



ました。アカオネツタイチョウという鳥で、通常硫黄島付近に生息していますが、北上する台風の風にあおられて本土にやってきたようです。

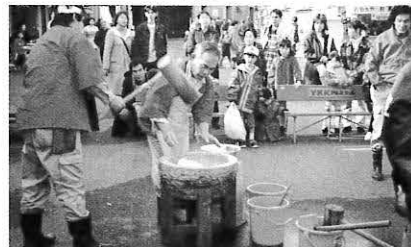
動物病院に保護動物がいなくなる日はありません。できるだけ多くの保護動物を野生復帰させようと毎日がんばっています。

飼育課 ● 竹田 正人

1/2 ●新年は2日より開園しました。
●当園園長による「干支のお話」を開催しました。今年の干支である架空の動物「龍」についての逸話や、オオトカゲの紹介などの内容でした。

●2日3日の2日間、カレンダーのプレゼントを行いました。

1/3 ●餅つき大会を開催しました。



1/4 ●フラミンゴの切羽をしました。切羽とは翼の羽根の先を切ることで、切った羽根はまた伸びてくるので、園外へ飛んでいってしまわないように定期的に切羽をする必要があります。

1/8 ●当園飼育係によるお話「ペンギンくんの一日」を開催しました。

1/9 ●当園園長による「南アフリカの動物たち」を開催しました。

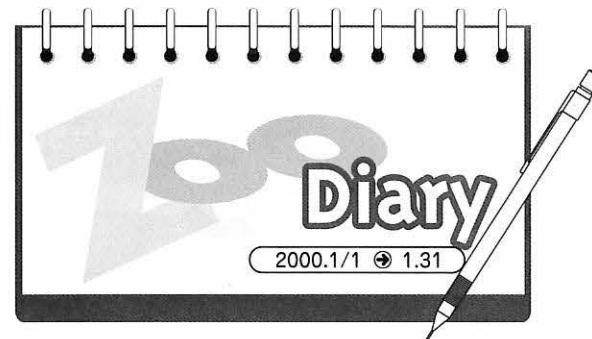
1/10 ●当園飼育係によるお話「干支のお話」を開催しました。

1/12 ●ニジキジのメスのくちばしが伸びすぎていたので、先端を切って整えました。



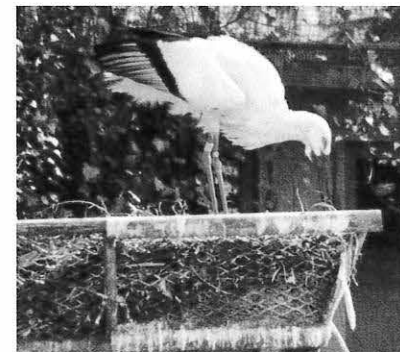
1/22 ●当園飼育係によるお話「カバさんの一日」を開催しました。

1/23 ●セイタカシギ10羽が来園しました。検疫終了後に小鳥の家に展示します。



1/24 ●保護されていたホシハジロ4羽とゴイサギ2羽の状態が回復したので放鳥しました。

1/29 ●ニホンコウノトリが巣を作る行動を始めました。春には産卵が見られそうです。



1/30 ●アジアゴールデンキャットの老齢メスが死亡しました。このメスは昭和62年に上海市から大阪市に友好動物として贈られたものです。

●山口県熊毛町の「鶴いこいの里」の職員および地元ボランティアの方が、当園のナベヅル飼育状況視察のため来園されました。



お知らせ

●動物のお話

- 4月 1日(土) 動物ビデオ放映
 - 4月 8日(土) 爬虫類生態館の裏表
 - 4月15日(土) 動物ビデオ放映
 - 4月16日(日) 動物園のおじさんのお話
 - 4月22日(土) コアラ君の一日
- いずれも午後1時30分から

- 場 所 天王寺動物園内レクチャールーム
- 参加方法 会場に来られた方、先着60名

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店



こどものずかんシリーズ

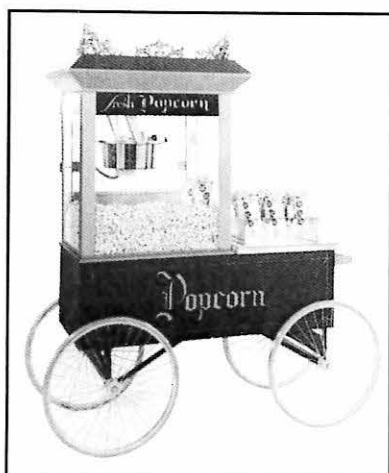
① どうぶつえん

26.5×21cm 各巻定価 本体1,000円(税別)
全国学校図書館協議会選定

動物園にはいろんな動物を見ることができます。
ただ、単に見るだけではなく、その動物の特長や生態、
何を食べているか、またその仲間たちはどんなものか
があるかがこの本でわかります。さあ、この本を持って
もう一度動物園へいってみよう。

お求めは、お近くの書店で。

ひかりのくに株式会社 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151代表



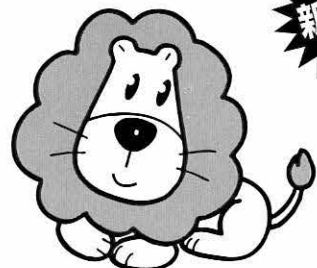
マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856
(株)増田食品 大阪府豊中市穂積 1-10-30
TEL.(06)6865-0165

FUJIFILM
I&I-Imaging & Information



新発売

楽しいショットを
3つのサイズで。



FUJICOLOR スーパー
スリム
APSフィルム使用

切替

撮影シーンに合わせて、
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

かろうの大林

桜橋本店 ☎6341-8091
阪急三番街店 ☎6372-5031

狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子[編著] ●新刊
3,500円+税 ●限定1000部
狼と犬と猫の生態を研究し、動物学
を始めて世に紹介した平岩米吉
の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を
娘の眼から深く描く。
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわ
せ、動物画家・大崎善司、日本好き
のスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史
2,600円+税

犬と狼
●2刷出来 2,500円+税

犬の生態
●6刷 2,000円+税

犬の行動と心理
●4刷 2,000円+税

私の犬
2,200円+税

猫の歴史と奇話
2,200円+税

動物文学 復刻版 [全10巻+補巻・索引]
174,757円+税 ●限定300部(分売不可)

南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の
作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

築地書館 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-201 TEL.03-3542-3731 FAX.03-3541-5799 (送料一律400円)
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address=JDH07647@niftyserve.or.jp

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」

19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)

好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー

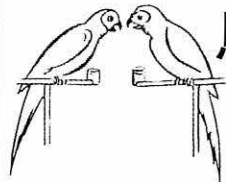
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)6771-0201



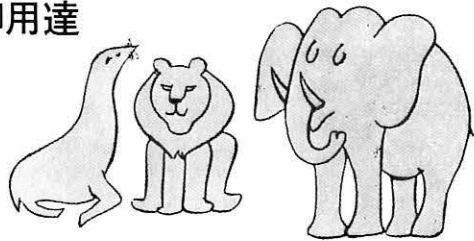
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

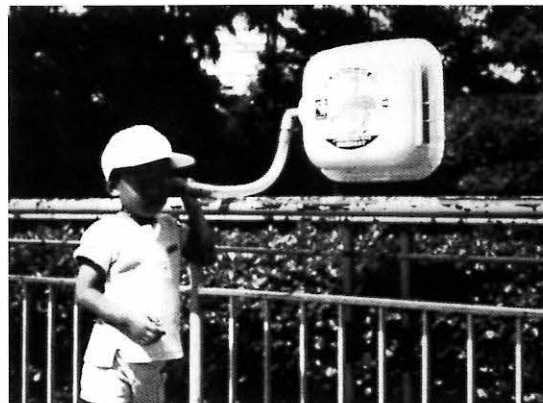


有限会社 吉川 商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話06-6762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は



動物園内.....

中央売店

TEL06-6771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL06-6771-7110



天王寺動物園 MAP



阪神高速松原線

動物園入口

- 入園料** 動物園/大人500円 公園/大人150円 中学生以下、65歳以上無料
- 開園時間** 午前9時30分~午後5時(入園は4時まで)
- 休園日** 毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は翌日休園)

大阪市天王寺動植物園事務所 〒543-0063大阪市天王寺区茶臼山町1-108 TEL.06-6771-8401



365日、毎日毎日骨太に。



牛乳のカルシウム吸収のよさそのままに、
1本で1日分のカルシウム。



カルシウムを摂るなら牛乳や乳製品が理想的。それは、牛乳のカルシウムは、とても体に吸収されやすいからです。この牛乳のカルシウム吸収のよさはそのままに、カルシウムの量を600mg（成人1日あたりの所要量）までアップさせた、雪印毎日骨太、日本人に不足しがちなカルシウムを、効率よく補給するために、ぜひ毎日お召上がりください。



雪印 毎日骨太

300ml・100円／希望小売価格（税別）



一日、愉快地 たのしめる

◎園内2カ所（中央デッキ下・南園高架下）に、各種のりものがあります。



ほんとに
楽しいネ!



中央デッキ下



南園高架下

久竹娯楽株式会社
TEL (06) 4397-0100 (代)

編集委員

中尾啓一/中川哲男/石井 等/藤田四郎/沖田紀行/山崎道正/長瀬健二郎/谷森 進/長澤英資/森本委利/高橋雅之/市川久雄
竹田正人/高見一利/瀧 勇二/松岡秀和/萩原祐二/坂本 全/森岡伸晃/野口秀高/大野尊信/早川 篤/西村慶太/油家謙二